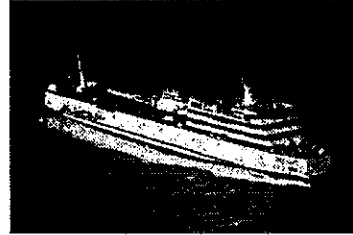


ジャンボフェリー(神戸市)は運航するフェリー船内や発着港の乗り場で多機能携帯端末(タブレット)を使って通訳をするサービスを導入した。テレビ電話の機能を利用して、映像を通じて案内する。海外客の利便性を向上させるほか、緊急時の対応にも生かす。

船旅の海外客に テレビ電話通訳

ジャンボフェリー



携帯端末で5カ国語対応

レットを設置した。英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の5言語にテレビ電話で対応。通訳が画面に登場、海外客と従業員が画面内の通訳を介して会話することができる。船内での過ごし方の説明や観光地の案内などで利用してもらう。

神戸―高松間を運航するフェリーに通訳サービスを導入した